

令和4年11月1日  
発行  
浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組  
発行責任者  
永原智行



人生は如来さまに出遭い  
如来さまに育てられる

道場なのです

梯實圓 和上著

「花と詩と念仏」から



宗祖が教行信証をご製作された稲田御坊 (茨城県笠間市稲田) 9/2 撮影

ヒダカくん・ひかりちゃんの

『御文章』のお話その20

永原智行

珠数章 (二帖第五通)

念珠をあらわす(じゆず)は通常、数珠と書きます。

そもそも、この三四年のあひだにおいて、当山の念仏者の風情をみよぶに、まことにもつて他力の安心決定せしめたる分なし。そのゆゑは、珠数の一連をもつひとなし。さるほどに仏をば手づかみにこそせられたり。聖人親鸞、まつたく「珠数をすてて仏を拝め」と仰せられたることなし。さりながら珠数をもたずとも、往生浄土のためにはただ他力の信心一つばかりなり。それにはさほりあるべからず。まづ大坊主分たる人は、袈裟をまかけ、珠数をもちても子細なし。

これによりて真実信心を獲得したる人は、かならず口にも出し、また色にもそのすがたはみゆるなり。しかれば当時はさらに真実信心をうつくしくえたる人いたりてまれなりとおほゆるなり。それはいかんぞなれば、弥陀如来の本願のわれらがために相應したるたふとさのほども、身にはおほえざるがゆゑに、いつも信心のひととほりをば、われこころえ顔のよしにて、なにことを聴聞するにもそのこととばかりおもひて、耳へもしかしかともいらす、ただ人まねばかりの体たらくなりとみえたり。この分には自身の往生極楽もいまはいかがとあやくおほゆるなり。いはんや門徒・同朋を勸化の儀も、なかなかこれあるべからず。かくのごときの心中にては今度の報土往生も不可なり。あらあら笑止や。ただふかくこころをしづめて思案あるべし。

まことにもつて人間は出づる息は入るをまたぬならひなり。あひかまへて油断なく仏法をこころにいれて、信心決定すべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。

◎ 語句

当山の念仏者…吉崎御坊に参集する本願寺門徒を指す。

風情(ふぜい)…ありさま。ようす。

珠数(じゆず)…通常は「数珠(じゆず)」と書く。

大坊主分…大坊(大寺)の住職の地位にあるもの。

色…様子。

当時…現在。ただいま。

うつくしく…立派に。見事に。

しかしか…しつかりと。

体たらく…様子。

同朋(どうぼん)…同師同門のとも。同じ専修(せんじゆ)

念仏(ねんぶつ)に生きる仲間。すべての人間は仏の子で

あるという自覚にもとづき明らかにされた、念仏者の平

等性をあらわすことば。

あらあら…ああ。

笑止(しょうし)…気の毒やら、おかしいやら。

◎ 現代語訳・大意

この三・四年の間、ここに集まる念仏者を見ていると、他力の信心を決定している様子がありません。念珠一連を持つ人もなく、み仏をうやまう気持ち欠けているようです。親鸞聖人は、念珠を捨ててみ仏を拝めとおっしゃったことはありません。もちろん、浄土往生のためには、念珠を持たなくても、他力の信心一つで十分です。しかし、住職たるものは、袈裟(けさ)をもかけ、念珠も持って礼拝し、み仏をうやまう気持ちをおもてに出してもよいでしょう。そのことを縁として、眞実信心をいただいた人は、かならず口に念佛を称え、称またぶるまいにも信心を得ているようすがあらわれるものです。しかし今、眞実信心を得ている人はいたって少ないように想われます。

それは、み仏の本願の尊さをわが身に受け取っていないからです。信心についてよく心得ているような顔をして、何を聞いてもしつかり耳に入らず、ただ人まねばかりをしているといつありさまです。

これでは自分の往生もあやうく、まして二門徒やお同行の教化(きょう化)などできるはずはありません。そのような心では、このたびの浄土往生もかきません。何とも気の毒なことです。よくよく考えてください。人間はまことにほかないものです。決して油断(ゆだん)をせずに、仏法(ぶつぽう)を聴聞(ちやうもん)して信心を決定するように心がけるべきです。

ひかりちゃん

「このお話は、眞宗門徒は正しく仏さまを拝みなさいということなの？」

ヒタカくん

蓮如上人の頃のお坊さんが、「お念仏さえておれば助かるとは聞いておるが、何をどうしてよいやらわからん」といつたことから始まったんだ。

ひかり

お坊さんが、「何をどうしてよいやらわからん」というのはなんと情けないことね。

ヒタカ

地方(かみけ)にいて、蓮如上人の感化(かんげ)を受けず、先祖から習慣・儀礼として受け継いだ人は「ついうものだったのと違(ちが)うのかな。」

ひかり

「ここでいうと、習慣化・儀礼化している体制に対して親鸞聖人が勧められたのは、阿弥陀仏の本願を信ずる信心一つで救われ、ほかの行を修めなければならないという心を捨てよということなのね。」

ヒタカ

さらには、蓮如上人の時代でさえ体制化、儀式化していたものを、個人の苦を解放することから始まる仏教に戻るように革新しなければならなかったんだね。

しかしながら、現在はその儀式でさえ危うい時代だともいえる。昔だったら、念珠の持ち方などは人に教えられることもなかったのに、核家族が進んで数珠(じゆず)さえ右手か左手に持つのかもわからない人が増え(左手です)、仏壇(ぶつだん)の荘厳(しょうげん)も無茶苦茶(むちゃくさ)になっている。儀礼化(ぎれい化)はいけない、「親鸞聖人の精神(しんせい)に戻れ」といわれた時代は、きつと「ついう」初歩(しょぼ)的なことは誰でもできて、そんな誰でもできていたことをあれこれいわず、「精神(しんせい)こそ大切だ」といつていたでしょう。今は、すべてが混沌(こんどん)として何が何やらわからない時代だ。

せめて仏さまを拝むときは念珠に手を通して拝みましょう。これから始めなければいけないのかも。眞宗のベーシックな事ができずに、雑行(ざつぎょう)雑修(ざつしゆ)に人が陥(おと)ってしまっているのが今の時代でしょう。

# 浄土眞宗のみ教え

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀(みだ)のよび声(こゑ)

私の煩惱(ぼんごう)と仏(ぶつ)のさとりは 本来(ほんらい)一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀(みだ)のよび声(こゑ)

ありがとう といただいて

この愚身(ぐみ)をまかす このままで

救(すく)い取られる 自然(じねん)の浄土(じやうど)

仏恩(ぶつおん)報謝(ほうしゃ)の お念仏(ねんぶつ)

み教え(みけし)を依りどころに生(い)きる者(もの) となり

少しずつ 執(と)われの心(こゝろ)を 離(はな)れます

生(い)かされていることに 感謝(かんしゃ)して

むさぼり いかにに 流(なが)されず

穏(おだ)やかな顔(かお)と 優(やさ)しい言葉(ことば)

喜び(よきこゝ)も 悲(かな)しみも 分(わ)かち合い

日々(ひび)に 精(せい)一杯(いつぱい) つとめます

# 新布教使のご紹介

岩崎 信さん(24)

由良町蓮専寺

プロフィール

学歴…龍谷大学卒業  
趣味・特技…ギター

日高組蓮専寺の岩崎信と申します。

今年の4月に布教使になりました。浄土真宗のみ教えを正しくわかりやすくお伝えする僧侶です。少し若く布教使になりましたが、早くならうと思った事にも理由があります。それは、これからの人生の中で、布教使として、阿弥陀さまの眼差しの中、生活を送らせていただくというところです。

日々の生活の中では今まで気づくことのできなかったところに、阿弥陀さまのお慈悲の一端を味合わせていただいているところ、私が、私自身布教使になって一番変わったところでもありません。また、これから僧侶として、勉強はもちろんのことですが「いつまでも浄土真宗をありがたと思える」、そんな僧侶でありたいと思っています。



# 法悦クイズ

【応募方法】

ハガキ、日高組ホームページにてご応募してください。

○ハガキで応募

- |                    |
|--------------------|
| ① 法悦クイズの答え ※必須     |
| ② 住所 ※必須           |
| ③ 氏名(ふりがな) ※必須     |
| ④ 年齢               |
| ⑤ 電話番号             |
| ⑥ 所属寺(〇〇寺) ※必須     |
| ⑦ 「ひかり」に対するご意見ご感想等 |

〒649-1113
和歌山県日高郡
由良町阿戸244番地
教専寺内 日高組事務所 行

63円切手

○ホームページから応募

日高組ホームページのメニュー内にあります応募フォームより、必要事項をご記入の上送信ください。  
日高組ホームページへのアクセス方法  
下記のいずれかの方法で、日高組ホームページにアクセスできます。

○URLを直接入力してアクセス

下記のURLを直接入力してアクセスしてください。  
<http://hidakaso.jimdo.com>

○バーコード(QRコード)からアクセス

お使いのスマートフォン等にQRコード読み取り機能で右のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。アドレス入力しなくても手軽にアクセスできます。



【応募締め切り】

2023(令和5)年1月31日(必着) 発表は次号です

☆正解者の中から抽選で10名の方に『粗品』を進呈します。

Q: 親鸞聖人のご往生は何歳のとき  
でしようか?

- 次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください。
- ③ 90歳  
② 85歳  
① 80歳

117号の正解は

「①親鸞聖人の教行信証」でした。

『歎異抄』は、親鸞聖人の弟子が日頃聖人が語られていた言葉などを書き記した書です。

また『御文章』は、8代宗主蓮如上人が門弟に親鸞聖人のみ教えを平易に伝えるために書かれたお手紙集です。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- |     |       |   |     |       |   |
|-----|-------|---|-----|-------|---|
| 由良町 | 松下光男  | 様 | 由良町 | 平林道子  | 様 |
| 由良町 | 田中久生  | 様 | 由良町 | 小林民子  | 様 |
| 由良町 | 中崎エミコ | 様 | 由良町 | 西脇公一  | 様 |
| 由良町 | 井口きよみ | 様 | 由良町 | 中口小夜美 | 様 |
| 御坊市 | 塩田廣一  | 様 | 日高町 | 川端明子  | 様 |

## 法話

『新型コロナウイルス感染症対策のマスクは浄土真宗?』

二〇二〇年1月に初めて日本で新型コロナウイルス感染者が確認されて、まもなく3年となります。感染症にまつわる事で、重大な過ちを犯してしまった出来事もありました。感染者やそのご家族に対する誹謗中傷、排他的行為や発言などが、多くの方々のいのちの尊厳を損なっていました。ことは、大いに反省すべき事柄です。ハンセン病隔離政策がもたらした差別（人権）問題と重なってなりません。

さて、日本だけではなく世界各国で、感染対策のためマスクの着用が推進されてきました。「息苦しくて仕方ない」「いつまでマスク生活が続くのか」とも愚痴がこぼれてきますが、そもそもマスクの着用は、自らウィルスからの感染を防ぐ事と万が一感染しているかもしれない自らが第三者に感染させない事が目的です。この事は、一つの事で二つの利益をもたらしています。このことを仏教の教えと照らし合わせてみましょう。

阿弥陀さまという仏さまは、一切の者を救うことができなければ私は仏になることは出来ないと言われ、阿弥陀という仏さまになられた（悟りを得た）お方です。『正信偈』六首引きのご和讃に「弥陀成仏のこのかたは いまに十劫を経たまへり」と親鸞さまはお述べになられています。

このことは、二つのことをあらわしています。一つには、阿弥陀さまご自身が仏となられたということ。

もう一つは、一切の者を救う手立てが完成した、すなわち私たちの救われることは定まった、ということとです。これを自利利他円満と言ひ、自らと他者の利益が同時に成立しているのです。さらに浄土真宗のみ教えでは、二つのご利益があるとお聞かせにあずかります。ひとつは往相（お浄土に生まれてゆくこと）、二つ目には還相（お浄土に生まれて仏となり、この世に還って、人々を教化する）です。このことを一つの理論として聞いてしまいますと全く意味がありません。

よくよく考えてみれば、私たちは自己中心的な生き方をしていきます。またそうしなければ生きてゆけないのかもしれませんが、自己中心的な生き方は、何処かで誰かを傷つけ悲しませているかもしれません。例えば、試験を受けて合格を願う場面があったとしましょう。一定の点数があれば全員が合格するような運転免許の試験であれば、自分の合格が他者を悲しませるものではありませんが、合格者に人数制限があったら、自分の合格により合格出来なかった方の悲しみにつながります。

『自利利他円満』や『往相還相』ということは、私自身が、阿弥陀さまのみ教えに出会い、お念仏申させていただく中に、この世の縁が尽き、お浄土に生まれ、他者の本当の幸せを願い行動してゆける存在にな

ってゆくことを示唆しているとあじわうことができます。

また、浄土真宗という宗教は、それほど崇高な教えだと言うことが出来るのかも知れません。

（藤田眞雄）



## 日高組団体参拝のお知らせ

明年4月に参拝します慶讃法要の募集を開始いたします。今回、寺院単位での割当はせず、1班と2班はそれぞれ教化団体に割り振らせていただきます。また納骨、帰敬式受式については行程の都合により行いませんので、ご了承頂きますようお願いいたします。

団体参拝の詳細については下記の要項をご参照ください。

本願寺より慶讃法要のプロモーションビデオが出ていますので左記のQRコードを読み取りご覧ください。

多くのの方々のご参拝をお待ちしております。



## 日高組 親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 団体参拝募集要項

### 日 程

- 1班 令和5年4月1日(土) 午後法要参拝 (13:00~16:00)  
募集対象者 門徒総代会(25名)・仏教壮年会(15名)
- 2班 4月11日(火) 午前法要参拝 (9:00~12:00)  
募集対象者 仏教婦人会(30名)・寺族婦人会(10名)
- 3班 4月28日(金) 午前法要参拝 (9:00~12:00)  
募集対象者 一般参拝者(30名)・住職・寺族(10名)
- 各班定員40名(上記募集対象者のカッコ内の人数は目標人数です)

### 行 程(御坊南海バス)

#### ○午前法要(2班・3班)

日高町役場(6:00) … 由良町中央公民館 … 広川IC … 岸和田SA … 上鳥羽出口  
本願寺法要参拝(9:00~12:00) 昼食 京都国立博物館(13:30~15:00) … 由良町中央公民館  
… 日高町役場(18:00)

#### ○午後法要(1班)

日高町役場(7:00) … 由良町中央公民館 … 広川IC … 岸和田SA … 鴨川東出口  
京都国立博物館(10:00~11:30) 昼食 本願寺法要参拝(13:00~16:00) … 由良町中央公民館  
… 日高町役場(19:00)

### 参加費

10,000円(法要懇志はお渡しする封筒に任意額を入れて当日お渡してください)

### 参加申し込み

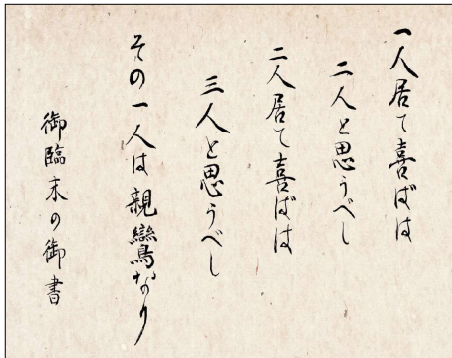
1班・2班は各教化団体で取りまとめて日高組組長事務所に申し込んでください  
3班は寺院より直接日高組組長事務所に申し込んでください

# 門徒心得

## 宗祖親鸞聖人ご往生

親鸞聖人が京都・三条富小路にある実弟尋有僧都の善法坊で「念仏の息」絶え終わらせたのは、弘長2年（一二六二）11月28日（新暦一二六三年1月16日）のことでした。数え年で90歳といわれています。傍らには末娘の覚信尼さまをはじめ、息子の教信尼さま、関東の弟子方もおられたようです。ご遺体は翌日、東山の鳥辺野で火葬され、ご遺骨は鳥辺野の北あたりに埋められ、墓石が建てられました。それから10年後、覚信尼さまは大谷北地に、親鸞聖人のご遺骨を移し、聖人の御影を安置して廟堂を建てたのでした。これが本願寺の始まりです。

ところで、親鸞聖人のご生活ですが、63歳のころ、関東20年の教化を終えられて、妻子を伴って京都に帰られました。『教行信証』の完成のためともいわれ、主に五条西洞院に住まわれました。京都では晩年まで『教行信証』を添削されるとともに、



一人居て喜ばば

二人と思ふべし

三人居し喜ばば

三人と思ふべし

その一人は親鸞なり

御臨末の御書

「和讃」など数多くの書物を著され、関東から訪ねてくる弟子たちに本願のこころを伝えられたり、書簡で他力念仏の質問に答えられました。

（鈴木章吾）

# シリース

## 過疎問題を考える

妙願寺 楠原晃紹

### 納骨・分骨 昨今の事情

9月上旬に東京ビッグサイトで開催されたエンディング産業展を視察する機会がありました。

エンディング産業展とは超高齢化社会や単身世帯数の増加、社会の国際化や女性の社会進出、ひいてはLGBTQなどの個性の尊重などの社会構造の変化が進む日本において、個人個人の人生のエンディングにふさわしい葬儀や埋葬、供養を消費者がサービスとして自由に選択でき、そして家屋や財産の相続など次世代にスムーズに引き継げるよう、次世代の終活産業を創り出す製品・技術・サービスを持つ企業・団体が一堂に集まり開催する、日本最大のライフエンディング業界専門展示会のことです。

展示ブースを回って気づいたことは、金仏壇などの大型仏壇が全く見当たらない、仏壇が小型化され、おしゃれでリビングやダイニングに安置しても違和感のないものばかりが展示されていました。そもそも、昨今の新築された家屋に仏壇や和室がないことで、ある意味当然のことなのでしょう。多種多様化される商品に驚きを禁じえない中で、興味深くも複雑な心境で各ブースを一日がかりで見学させていただき、丁寧な説明をそれぞれの会社から受けました。

### 宇宙飛行プラン（宇宙葬）概要

ご遺灰を収めたカプセルをロケットに搭載し、宇宙空間へと打ち上げるプランです。ロケットは、アメリカ・ニューメキシコ州にある商業宇宙船発着基地「スペースポート・アメリカ」より打ち上げられます。



なかでも、納骨・分骨に価値観の変化が目に見えて起こってきていると感じたのです。お骨や分骨を手元供養できるカラフルでなかには高額で豪華な骨壺を始め、分骨用のペンダントの数々、海洋散骨、樹木葬、ガーデン葬、果ては宇宙葬（遺骨の一部を収めたカプセルを専用のロケットに搭載し宇宙空間に打ち上げるプランなど）といった真新しい納骨・分骨のスタイルの提案に戸惑うばかりでした。

つまり、葬送儀礼や納骨など個々の自由な選択といったニーズが、都市部はもとより全国的に多様化してきているということですね。多種多様な仏壇や納骨グッズなど、最近では御坊市内の仏壇屋さんでもよく目にします。

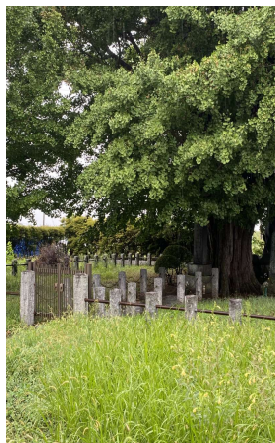
過疎問題を考えるとき、寺院側が伝統的な納骨手段にこだわらなくなり、ご門徒の自由な選択肢が狭められるといった弊害が今後出てくるように思われます。それによって、お互いの距離が益々拡大し、離檀などといった寺院運営を枯渇させる要因が起これなければよいのですが、あなた自身はどういった納骨・分骨をお考えでしょうか？

**板東報恩寺**（茨城県常総市）



開基 性信房19歳のとき上洛して黒谷に法然聖人を訪ね、他力本願の教えに帰依した。この時、法然聖人は高齢であったため、彼を高弟である親鸞聖人に託した。ここで聖人にとっても生涯初めての師弟の契りが結ばれた。そして法名を性信房と賜り、それから<sup>しやうすいじつじん</sup>は聖人のいるところ必ず性信房の姿ありといわれ、常随<sup>じやうずい</sup>昵<sup>じつじん</sup>近の弟子となり、親鸞聖人の流罪地、越後にも随行された。報恩寺を建保2年（1214年）に創建され、親鸞聖人旧蹟24輩第1番坂東報恩寺として知られている。

**小島草庵跡**（茨城県下妻市）



越後流罪と滞留7年の後、親鸞聖人は建保2年（1214）妻子を伴って上野国佐貫を経て、常陸国に入り、最初に居住したのが、ここ小島草庵である。小島郡司の武弘が聖人の徳を慕い、この地に草庵を設けて迎えた。ここに3年間滞留し、越後で果たせなかった真宗念仏の伝道に積極的に乗り出した。いわばこの草庵（三月寺：さんげつじ）こそ宗祖が関東において真価を發揮した最初の土地である。草庵跡には「親鸞聖人御旧跡」、「三歳御住居」とした古碑や五輪塔と、稲田に移った聖人を慕って枝が北向きに伸びているという「稲田恋しの銀杏」の大樹がある。

**親鸞聖人関東ご旧跡巡り**

妙願寺楠原住職が9月2日に巡拝された宗祖のご旧跡をご紹介します。

**高田本寺専修寺**（栃木県真岡市）

嘉禄元年（1225年）、親鸞聖人が、関東各地の教化に入って十余年、真岡城主大内国行の懇願により建てられた寺院と伝えられる。信濃国善光寺の本尊である秘仏を模した善光寺式阿弥陀三尊（一光三尊仏）を善光寺より迎えて本尊とした。その為、聖人が建立した唯一の寺だとされている。その後、二十四輩の第二番であり、門弟の有力者の一人であった真仏が管理に当たっていたとされている。

翌嘉禄2年（1226年）には、後堀河天皇から「専修阿弥陀寺」という勅願寺の綸旨を受け、聖人の教化活動は遊行から本寺中心に変わり、建立後約7年間この寺で過ごしたとしている。このように、本寺専修寺は東国における初期の浄土真宗の教団活動上重要な役割を果たした寺である。真仏を中心とした門徒衆は、関東各地の門徒が作る教団の中で最も有力な教団「高田門徒（現・真宗高田派；本山三重県津市）」を形成した。



**板敷山大覚寺**（茨城県石岡市）

・大覚寺の「縁起略述」には後鳥羽院の皇子正懐親王が比叡山にて出家し、周観大覚と称せられ、後に東国諸州行脚されていた折に、板敷山の南麓に庵を結ばれたと伝え、これが今の大覚寺であると伝えています。さらに「縁起略述」は周観大覚は親鸞聖人が越後の国より常陸の国に来られ、稲田郷にご滞在になった折に、稲田に聖人を訪ね、念仏の深意を聞きし師弟の契りを結ばれ善性房鸞英と称された。それより常にそばで聞法し親鸞聖人のご教化をたすけられたと記されています。



**稲田御坊**（茨城県笠間市）

稲田御坊の名で親しまれている稲田禅房西念寺は、親鸞聖人が恵信尼公とともに約20年の間お住まいになり、聖典『教行信証』のご執筆を進められつつ、関東一円へのご布教にあたられたこの地に建立されました。聖人が家庭生活を営まれ、お子様方をお育てになったのも、「稲田ご草庵」時代のことです。聖人を越後よりお迎えした稲田九郎頼重は、聖人に帰依して頼重房教養となり、当山の礎を築いたと伝えられています。稲田ご草庵の伝統は、この地に脈々と残り、今に至りました。茅葺きの山門をくぐれば、樹齢800年の巨木が茂り、「岷々たる岳山あり…数千万億の有情群衆せり」と聖人が夢見られた山々の稜線は、比叡の峰を彷彿させます。



## 親鸞聖人 関東での布教

常陸国ひたちのくにに到着された親鸞聖人は、下妻（小島の草庵）に3年ほど逗留された後、笠間郡の稲田の草庵に移り生まれ、この地を拠点におよそ20年にわたって布教を続けられました。鎌倉幕府の成立により政治や文化の中心であった京都から、関東が日本の中心となりつつありました。発展途上の関東の地では、まだ十分に浄土教信仰が広まっていなかったため、親鸞聖人は敢えてこの地での伝道を決意されたものと思われます。

「念仏を称えるだけで誰もが仏に救われる」という親鸞聖人のみ教えは次第に人々に受け入れられ、広まってきましたが、一方では周辺で修験道の行者として崇められてきた山伏の弁円べんねんの弟子や信者を奪うことになり、逆恨みをした弁円は親鸞聖人の命を狙います。呪術を行い、あるいは待ち伏せし、ついには親鸞聖人の草庵どうぼうに乗り込んで聖人を殺そうとした弁円を、聖人は穏やかに迎えられ、ともに仏に救われる存在であるとして「同朋」と呼ばれたといえます。心を打たれた弁円は直ちに念仏者となり、親鸞聖人の門弟としてみ教えを説き広められました。

このように、親鸞聖人のみ教えと生き方は、多くの人々に伝わっていきました。時には請われて下総（千葉県）や下野（栃木県）にまで足を延ばされ、こうした地道な伝道は次第に関東一円の人々に広まり、多くの人々が念仏のみ教えに帰依しました。親鸞聖人の直弟のうち、とくに高弟といわれる方は「二十四輩にじゅうよっぺい」として後世に伝わっています。

また、親鸞聖人は常陸での布教のかたわら、専修念仏の教えを体系的にまとめたお聖教『教行信証』の執筆を進められます。たくさんたかさんの経典などを参考にして、何度も筆を加えながら、元仁元（1224）年にほぼ完成されたことからこの年を浄土真宗の立教開宗の年と定められました。再来年（2024年）には立教開宗800年をお迎えします。

## 読者の声

※法悦クイズを楽しみにしています。浄土真宗の勉強ができて楽しいです。たまには浄土真宗やお経に関しての勉強会があればいいなと思います。

※ひかり一七号法話、二河白道人生の終幕近く罪悪深重がわかり始め、私にも細い白道に恵まれることを信じたものです。そのためどんな時を過ごすべきか、白道を求めて

※暑い日が続いています。コロナも終息せず大変な毎日です。（自分で気を付けて仏前に手を合わすしかありません。）

※格別な暑さとコロナ禍を無事にのりこえ、しのぎやすい秋彼岸に皆に会える事を祈り日々過ごしています。

※ひかりをいつも読ませていただき、知らない事ばかりで真に感謝しています。コロナも早く退散してほしいばかりです。

※いつもひかりを読ませてもらい知らないことも多々あり勉強べんけんになりありがたいです。楽しみにまっています。

※いつも拝見しています。とくに法悦クイズではとても勉強べんけんになっています。

※勉強べんけんになることばかりで、毎日楽しく拝読しています。

## 日高組通信

コロナ禍の為に中止した行事が多数あります。

## 【行事報告】

## ☆ 組報編集委員会

10月3日（月）、第118号のひかり編集委員会が日高町柏善宗寺で開催されました。

## ☆ キッズサンガ検討委員会

10月11日（火）、キッズサンガ検討委員会が由良町吹井覚性寺で開催され、12月に開催予定のキッズサンガについての具体的な内容について協議しました。

## 【行事計画】

## ☆ 日高組キッズサンガ

令和元年の開催以来となるキッズサンガ（子どものつどい 日高組主催）が12月10日（土）に由良町小引円明寺で開催されます。詳細についてはお手次のお寺にお問い合わせください。

## ☆ 日高組真宗法座

12月11日（日）、午後1時半から由良町里蓮専寺において第27回真宗法座が開催されます。講師は滋賀教区 佐々木義英和上です。

お誘い合わせお聴聞させていただきますよう。

## ☆ 第2回日高組内会

12月17日（土）組長事務所教専寺にて開催します。

## ☆ 第3回日高組内会

2月18日（土）由良町衣奈信行寺にて開催します。

編集後記・・・今号よりひかりの編集ソフトを変えました。これにより、紙面がいつもと少し違うと感じるかもしれませんね。ご感想などお待ちしております。